



お江戸松愛

2019年2月 第52号

松愛会 東京都支部
発行人 池田利美
編集人

パナソニック松愛会 東京都支部 支部報 <http://www.shoai.ne.jp/tokyo/>

平成30年12月31日現在 支部会員数 733名

支部だより

◆社会見学会を開催しました

○とき：11月14日（水）

今年も恒例の日帰りバス旅行「社会見学会」を首都圏支部と合同で実施、明治維新から150年にちなんで、大磯・小田原方面に行ってきました。

大磯では、旧吉田邸と大磯郷土資料館を見学した後、昼食では、小田原漁港へ移動して相模湾の新鮮な魚を楽しみました。



その後、小田原城へ向かい、小田原城址公園で天守閣をバックに記念撮影の後、天守閣の階段を上がり、

〔 明治150年 東海道 大磯・小田原方面を往く 〕
〔 昼はチョット寄り道 “相模湾の新鮮地魚” を！ 〕

“小田原開府百年特別展”を見学、とてもいい運動になりました。

最後は鈴廣かまぼこ博物館で、希望者が「ちくわの手づくりを体験」、全員がかまぼこの試食や買い物を楽しんで帰路につきました。



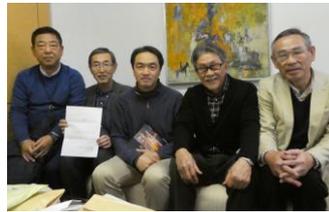
帰路では、恒例の健康クイズを実施、健康についても再認識しました。天気にも恵まれて、歴史と食を通じて大磯と小田原の秋をしっかりと満喫することができ、充実した1日になりました。

◆日本キリスト教海外医療協力会に古切手を贈呈 ～社会貢献活動～

社会貢献活動として、皆様にご協力いただいている「古切手の収集活動」の成果として、今年も12月21日に、3万枚の古切手を日本キリスト教海外医療協力会（JOC S）に贈呈することができました。

JOC S森田事務局長様のお話では、ここ最近集められる使用済み切手の枚数は横ばい状態という中で、松愛会からは毎年一定数をお届けできているということで、感謝のお言葉をいただきました。古切手は様々な医療活動に役

立てられていますが、例えば、タンザニアでは古切手5千枚で1年分の看護学校の教科書に、インドネシアでは1万枚で1ヶ月の助産師学校の授業料となっているそうです。



今後も、誰でも気軽に参加、協力できる社会貢献活動として、地道に継続していきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

◆第139回みちくさ会の報告です

○とき：12月1日（土）

○コース：「赤穂浪士討入り後を歩く」（約6.5km）

快晴で風もなく暖かい日差しの中、24名が参加して開催、江東区文化観光ガイド・講談師の伊藤ひとみ会員にガイドをお願いして両国駅からスタートしました。



吉良邸跡の正門から名調子のガイドが始まり、吉良像から正門や裏門なども丁寧に確認しながら歩きます。

義士祭の2週間前でしたが、3組ものツアーが両国橋の袂で鉢合わせ、伊藤さんの名調子に惑わされたのか、他の

グループの方がお1人、1時間ほど一緒に歩かれていました。幹事が会旗を忘れたことも原因のようです。

永代橋を渡った処で茅場町駅から泉岳寺を目指す組と健脚組に分かれ、健脚組は浅野家上屋敷跡から築地本願寺を経由して泉岳寺に向かいました。

泉岳寺境内の赤穂義士墓地では、熱心に義士の名前と享年を確認しながらの墓参りでした。

健脚組も少々疲れを感じる距離でしたが、伊藤会員の名ガイドもあり、歴史のかなたの人物に身を移して過ごした1日でした。



【会員の動き】 2018年11-12月期 ◎転入：岡田正男（東京東地区・江東区）← 枚方北支部より
白川時夫（東京北地区・練馬区）← 首都圏支部より
◎転出：秋山博美（東京南地区・品川区）→ 横浜東支部へ